

全国 56 生協の職員 1 万 8, 131 人が 「認知症サポーター」に

～だれもが安心して暮らせる地域社会をめざした生協の取り組み～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田 克己）は、厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」（<http://www.caravanmate.com>）に賛同し、2008年度から全国の生協とともに「認知症サポーター養成講座」を開催し、職員の受講を進めてきました。

■ 生協職員の認知症サポーター比率は 18%に

- ・ 「認知症サポーター養成講座」は、2013年7月末までに全国 56 生協で延べ 794 回開催され、認知症サポーターは総計 1 万 8,131 人になりました（全国の地域生協職員約 10 万人の 18%）。
- ・ コープみらい（本部・埼玉県）は、これまで職員や組合員に向けた「認知症サポーター養成講座」の開催や、業務を通じた地域の見守り活動などに協力し、2012年10月には、埼玉県の「認知症サポート企業」に登録しました（登録時の名称は、さいたまコープ。現在、県内で 11 企業・団体が登録）。
- ・ コープあいち は 2012 年度、職員・委託先企業の社員を対象に「認知症サポーター養成講座」を 21 回開催し、計 343 人が受講しました。累計の受講者数は 1,200 人を超え、全職員の約 52% が修了しました（福祉事業に携わる職員を除く）。職員が宅配や店舗で、認知症サポーターとして接遇する場面も増えています。



認知症サポーター養成講座受講者の証
オレンジリング

■ 認知症サポーターによる対応事例が増えています（事例紹介）

- 店舗で** 買い物に来られた組合員の方が、「自宅が分からなくなった」とのこと。手荷物を拝見させていただいたところ連絡先が分かり、家族に連絡して迎えに来てもらいました。
- 宅配で** 住宅地を配達していたところ、道に座り込んでいた高齢の方がいました。不審に思い、声を掛けたところ、道に迷ってしまったとのことでした。ご住所をお聞きすると、場所的におかしいため 110 番通報し、警察官が到着するまで 1 人にしないように付き添いました。

社会の急速な高齢化に伴って、認知症の方は 2012 年度時点で約 462 万人に上るとされています（厚生労働省研究班調べ）。これからも日本生協連と全国の生協は、さまざまな事業で福祉的な視点を大切にし、だれもが安心して暮らせる地域社会をめざしてまいります。

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03-5778-8106